

オールカラー・完全保存版
全1000アイテム超

Audio Accessory

季刊・オーディオアクセサリ 特別増刊
令和2年11月25日発行 ISSN0285-1288

ケーブル大全

2021

2022

自宅でもいい音と画を
“つなぐ”完全マニュアル

最新ケーブル & グレードアップアイテム

世界のケーブルブランド最新動向

「福田屋直伝」ケーブル使いこなし

- 音のプロが語るケーブルの楽しみと使いこなし
- 音と画を手軽に向上「ケーブル徹底試聴レポート」
電源、スピーカー、RCA・XLR、デジタル ほか
- 音と画を良くする最新 HDMI ケーブル一斉試聴
- アナログレコードをケーブルでさらに楽しむ
- いま買える主要・国内／海外ケーブル全リスト



表紙のモデルを紹介



- ① ZONOTONE/フォノバランスケーブル「Shupreme TW-1 (SXLR)」(¥95,000/1.5m)
●取り扱い：(株) 前園サウンドラボ
- ② SILTECH/XLRインターコネクトケーブル「Crown Interconnect」(¥500,000/1.0m・ペア)
●取り扱い：(株) ノア
- ③ OYAIDE/RCAデジタルケーブル「DR-510」(¥17,450/1.0m)
●取り扱い：(株) 小柳出電気商会
- ④ TIGLON/RCAインターコネクトケーブル「TPL-2000R」(¥150,000/1.0m・ペア)
●取り扱い：ティグロン(株)
- ⑤ AET/電源ケーブル「SCR AC HR V2」(¥114,000/1.2m)
●取り扱い：完実電気(株)
- ⑥ THE CHORD COMPANY/HDMIケーブル「EPIC HDMI AOC」(¥94,000/1.0m)
●取り扱い：アンダンテラルコ(株)
- ⑦ FURUTECH/LANケーブル「LAN-8 NCF」(¥14,960/1.2m)
●取り扱い：フルテック(株)
- ⑧ JORMA DESIGN/RCAインターコネクトケーブル「JORMA STATEMENT」(¥1,800,000/1.0m・ペア)
●取り扱い：シーエスフィールド(株)
- ⑨ KRIPTON/電源ケーブル「PC-HR500M-Triple C」(¥48,000/2.0m)
●取り扱い：(株) クリプトン
- ⑩ LUNA CABLE/RCAデジタルケーブル「ROUGE Digital」(¥173,000/1.0m)
●取り扱い：アイレックス(株)



CHORD COMPANY



イギリス

● 取り扱い：(株)アンダンテラルゴ

左から高周波ノイズ対策プラグ「GroundARAY」のRCA/USB/LAN/BNC(各¥88,000)。中央上がHDMIケーブル「Epic HDMI AOC」(¥94,000/1.0m)と「Shawline HDMI AOC」(¥48,000/1.0m)。中央がXLRラインケーブル「ChordMusic XLR」(¥1,040,000/1.0mペア)とスピーカーケーブル「Sarum T Speaker」(¥340,000/1.5mペア)

Profile

英国のコードカンパニーは、エントリーラインからハイエンドシリーズまで幅広いラインアップを持つケーブル専門メーカーである。プラグの接点で発生する反射現象によるノイズを防ぐ独自技術の「アレイテクノロジー」とそれをさらに進めた「スーパーアレイテクノロジー」などの独自の技術が注目されるが、同ブランドの製品開発の基本は、数値化できない音楽の魅力をいかに伝えるかであり、技術はそのための手段であるとしている。

TOPICS



C-seriesやClearwayなどのエントリーシリーズも、独自のアレイテクノロジーが導入されている。写真はラインケーブル「Clearway RCA」(¥19,000/1.0mペア)

コードカンパニーの基本的な考え方は、元の音楽信号を劣化させたり、電磁波の影響によって歪み成分を載せることなく伝送することを目指している。そのための高周波対策のシールドや、その考え方の延長である「コードオーミット」と呼ばれるスピーカー端子。あるいは優れた特性を持つ絶縁材の「タイロン」や「XLPE」といった素材等を採用している。さらにこのところ改めて注目されているのが、アレイテクノロジーだ。オーディオケーブルの中

では音楽信号を伝送しているが、この端子部では「信号反射」の問題が発生。「プラグの接点において信号のごく一部が元の来た方向へ反射し、本来の音楽・映像情報に変異を与えるノイズとなってしまう」と説明されている。この問題を解決するための技術だ。これによって元の音楽信号に対して、欠落していたり、付帯音がついたり、歪み現象が発生していない音を聴くことができる。特に上位のセイルラムTやコードミュージックといったケーブルでは、きわめて忠実度の高い、音楽のありのままを聴かせてくれる方向性を獲得している。

きわめて忠実度の高いありのままを聴かせる

忠実な信号伝送のために独自の革新的技術を生み出した

Text by 鈴木裕 Yutaka Suzuki

英国コード・カンパニーより、画期的な“ノイズ・ポンプ”が登場

音に有害な高周波ノイズを吸い上げる 革新の最終兵器がベールを脱ぐ

日本のオーディオファンの間でも高い知名度を誇る英国のケーブルブランド、コード・カンパニー。同社から登場したいちばんの話題作はケーブルではなかった。その名は「グラウンドアレイ」。同社がケーブル開発において、長年にわたり重視してきた高周波ノイズ対策に完全決着をつけるべく登場したアイテムである。使用方法は空き端子に差すだけ。端子の仕様も7種類が用意され、あらゆるニーズに対応できるようになっている。その音質効果の大きさは早くも認められるところとなり、昨年度の「オーディオアクセサリ銘機賞2020」では見事頂点にあたる「グランプリ」を受賞している。それではこの「グラウンドアレイ」とは一体どんな製品で、どんな効果があるのか？林 正義氏がその魅力を語っている。

Text by 林 正義 Masamori Hayashi



The Chord Company Ground ARAY

¥88,000 (1個・税別)

※写真のRCA、XLRのオスとメス、LAN (RJ45)のほかにHDMI、USB-AとBNC仕様も含めて7種類がラインアップ
●サイズ：全長約87mm×直径約20mm (プロトタイプの数値・端子部分を除く) ●質量：60g (プロトタイプ) ●取り扱い：アンダンテラルゴ (株)



通称は「ノイズ・ポンプ」 空き端子に装着するのみ

(英)コードカンパニーの「グラウンドアレイ」は同社の独自技術であるチューンドアレイを組み込んだ、とてつもなく高性能な、通称「ノイズ・ポンプ」と呼ばれるノイズ吸収プラグだ。使用方法は簡単で、機器の空き端子に装着するのみ。それだけで絶大な効果を発揮するのだ。

この「グラウンドアレイ」が映える「オーディオアクセサリー」銘機賞2020の最高栄誉である「グランプリ」に輝いた。一体どんな発明なのか？開発にいたる経緯やこのアイテム自体について、同社のアラン・ギブ社長から解説文が届いたので、参考にしながら話を進めよう。

ノイズは外部だけではなく 機器の内部にも存在する

コードカンパニーが長年にわたり、高周波ノイズの研究を進めてきたのはご存じだろう。同社は音楽・映像信号への高周波ノイズが与える影響について、世界に先駆けて発見したケーブルメーカーなのだ。どんなケーブルでも、機器についていないだと同時にアンテナとしてノイズを拾ってしまう危険性も

発生する。ノイズにも色々あって、普通にノイズとして聴こえるものは気が付きやすく、例えば「ブーン」というハムノイズ(低周波ノイズ)を消せば気持ちよく音楽が再生できることは、特にレコードリスナーなら知っているはずだ。

だが近年急激に進歩しているデジタルの世界は、これまでにないタイプのノイズをもたらした。それがはるか可聴帯域を越えた高周波数ノイズである。これはハムノイズ以上にやっかいな存在で、大きな歪みを引き起こし、音楽情報を損傷させているのだ。この低周波と高周波の両方にノイズを防ぐシールド設計をしているのがコード社のケーブルなのである。私たちの身のまわりはまさに高周波ノイズだらけ。WiFi、Bluetooth、4Gや5Gの回線、LEDの照明機器、スイッチング電源などと、数え切れないほど存在する。

だがもっと困るのは、発生源が実はオーディオ、映像機器の内部にも存在するということである。動作することによりノイズが発生。しかもそれが自身だけでなく他の機器にも電源やアースを介して互いに影響を与えることを知ってほしい。

ケーブルの最新技術を応用 ノイズ対策プラグとは別物

2012年、コード社はその高周波ノイズを取り除くための糸口を見出した。同社のシールドケーブルでこそ実現できる技術であり、これを「チューンドアレイ」と命名した。今回の「グラウンドアレイ」はこの「チューンドアレイ」のノウハウを、異なるノイズ対策の製品として開発したものだ。この長い歴史からしても、近ごろ登場しているあれこれのノイズ対策プラグとは全くの別物と知るべきだ。

2017年にはより効果的な次世代のアレイ技術の開発に着手。2年の歳月を経て、この「グラウンドアレイ」が誕生したわけである。

熟練エンジニアが手がけ 7種類の仕様が出揃う

新たに登場した「グラウンドアレイ」に関して、まずは現在のラインアップを紹介しよう。RCA、XLRのオスとメス、そしてBNC、LAN(RJ45)、HDMI、USB-Aの7タイプである。

実際の製品をご覧ください。長さ約90mmのアルミ製シリンダーケースの内部には電気的にパッシブな5種類の素子が組み込まれている。詳細は企業秘密とのことだ

が、各素子はそれぞれ異なる帯域を受け待っており、あらゆる種類の高周波ノイズを吸収・熱に変換して発散しているということらしいのだ。重さは約60g。研究成果がぎゅっしりつまっていて、精密感溢れるたたくまいが美しい。高周波ノイズを熱変換して逃がすヒートシンクのイメージがわかりやすいだろう。

極めて広帯域の高周波ノイズを効率よく吸い上げるため、「ノイズ・ポンプ」の愛称で呼ぶ。シールドの嚴重さは同社の最高峰ケーブルである「コードミュージック」級という。振動対策のダンピング材も入って嚴重にロックされているのだ。

「コードミュージック」などの製作を担当する熟練エンジニアが、1本1本時間をかけて組み上げている。細かなセッティングは各仕様で微妙に異なってくるはずで、まさに芸術品といえる領域である。

極限的といえる静寂から 音楽が立ち上がってくる

それでは本邦初となる「グラウンドアレイ」の試聴体験を披露しよう。サクッとよい感触で端子に差さる。音を聴いて思わず息をのむ。いったいノイズはどこへ行ったんだ？音楽以外のよこれや雑味、さ

らにうつすらとしたベールのようなもので、根こそぎ吸いだされた印象だ。ヴォーカルもクラシックも、音源そのまんまの、真にニュートラルなサウンドが聴けた。極限的といえる超高S/Nと、デリケートな純度感で、ほぼ無音の深い静寂から音楽が立ち上がる。

それでいてドラムのアタックはエモーショナル、かつ強靱だ。リニアに伸び切るピーク音量は天井知らずだし、こじんまりしたライブのステージが天空をかけるがごとく立体的にスケールアップする。もう1度言うが、ミニカーからフェラーリの12気筒に乗り換えたような高揚感。決して大きさではない感想と思えるくらいのクオリティアップとわかって欲しい。

1本でシステム全体を覚醒 多重的な効果が期待できる

それぞれの機器の空き端子に差せば、さらに多重的な効果が期待でき、ブルーレイプレーヤーやプロジェクターなどの映像機器もフォカスや遠近感、字幕の明瞭度すら大きく再現力が向上する。1本8万8000円は確かに高価ではあるが、たった1本でもシステム全体を覚醒させるコード社渾身の画期的アイテムである。ぜひともまずは体験すべきだ。

英国のコードカンパニーから待望の2シリーズが登場!

ノイズ対策を徹底した 革新的な光HDMIケーブル

技術や素材にこだわり、幅広いケーブルラインアップを展開する英国のブランド、コードカンパニー。映像やサラウンドには欠かせないHDMIケーブルにおいて、光素材のメリットを最大限に発揮した2シリーズが登場した。その魅力に林正儀が迫る。



Text by
林 正儀
Masanori Hayashi

THE
CHORDTM
COMPANY

Epic HDMI
AOC

ラインアップ(価格は全て税別) 1m/¥94,000、2m/
¥98,000、3m/¥102,000、5m/¥110,000、8m/
¥122,000、10m/¥130,000、15m/¥148,000、20m/
¥166,000

Shawline HDMI
AOC 2.0 4K (18Gbps)

ラインアップ(価格は全て税別) 1m/¥48,000、2m/¥50,000、
3m/¥52,000、5m/¥56,000、8m/¥61,000、
10m/¥65,000、15m/¥74,000、20m/¥83,000

HDMIの研究を進めて 徹底的なノイズ対策を施す

コード・カンパニーは、アナログやデジタル、LAN、USBといった各種ケーブルに加え、映像ファン向けにHDMIケーブルまで幅広く手掛ける名門ブランドだ。数年前からHDMIの研究を進め、いち早く光ファイバーの優位性を見出した。そして「最高のものを発売したい」という高い目標を掲げた末、満を持して発表したのが「シヨールライン」と「エピック」だ。

そもそもHDMIケーブルは、高周波数信号(HF信号)だけでなく、5VのDC電源供給ラインが必要になる。そのため高周波ノイズが信号のアースラインに侵入し、音と画の両方にダメージを与えてしまうのだ。

また誤解しやすいのだが、一般的な光HDMIケーブルは、純粋な光ファイバー線材だけではない。実は4本1組の光ファイバーと7本1組の銅導線ハイブリッドで構

成されている。この銅線部分は高周波ノイズに無防備なままで、長尺仕様だとさらに有害ノイズを拾うことは避けられないのである。そこで高周波対策シールドを得意とする、コード社の腕の見せどころだろう。光HDMIケーブルの外側PVCジャケットに二重アルミ/マグネシウム/マイラー箔シールドシステムを組み込むことで、徹底的なノイズ対策を施しているのだ。

シヨールラインは、HDMI 2.0チップセットで4Kに対応。光ファイバー素材もハイグレードなOM3グレードを用意。2020年現在のトップエンドにあたるエピックも光学/銅のハイブリッド構造、高周波ノイズ保護はシヨールラインと同等だが、従来のHDMI 2.1時代のチップに対応し、機械的な絶縁性能を向上させている。

作品の没入感に浸る映像 愉悅の時間が流れる音響

2モデルを視聴してみると、一見一聴してシールドシステムの効

果は強力で、S/Nも抜群だ。シヨールラインは、画と音の隅々まで濁りやノイズ感がなく、すっきりと清々しい。4K/HDRのビデオ作品も、余裕を持って表現してくれるコントラストレンジだ。深い黒からピーク輝度の輝きまで美しく、実に自然で気持ち良いバランス。映画『マリアンヌ』の立体的な奥行や、血色を感じるフェイストーンも魅力的だ。エピックは、シヨールラインのトーンはそのままだ、生々しい実体感と深みがさらに高まる。遠近のグラデーションと色の多彩さに磨きかけ、まさにハイエンドの領域。映画『ファーストマン』や『ジョーカー』など、作品に入り込むような没入感に浸ることができた。

映像だけでなく、音響表現にも感嘆した。『ジョン・ウィリアムズライヴ・イン・ウィーン』では、金管や弦などウィーンフィルの各セクションの分離と融合が自然でリアル。天井高くうねるように躍動して、空間全体を包み込み、ホール之余韻まで楽しませてくれる。

愉悅の時間が流れていくようで、音響でもシヨールラインの底力を感じさせてくれた。エピックは、もうワンランク上のスケールや緻密さ、懐の深さを備えたさすがの貫禄だ。立体音響のドルビーアトモスを採用した『フォード vs フェラーリ』は、レースシーンのスピード感とスリルが驚異的。強烈な横Gを感じるコーナーリングに痺れっぱなしで、音が主役の作品だったのだと改めて見返してしまった。一度体験すれば、格が違う圧倒的な画と音のクオリティにのけるはずだ。

シヨールラインとエピックの他にも、メタルを採用したベーシックモデル「Cシリーズ」の基本設計をもとに、贅沢な銅線材と高周波シールドを施した「クリアウェイ」も追加された。強力なラインアップを誇るコード社のHDMIケーブルは素晴らしい。これからは間違いなく、魅惑のHDMIケーブルを使って、ぜひシステム全体を覚醒させて欲しい。

シールドシステムの効果は強力でS/Nも抜群 圧倒的な「画と音」のクオリティにのけぞった

コードカンパニーとは



オーディオケーブル専門メーカーとして、英国ソールズベリーにて1985年に設立。音楽の魅力が、いかに数値化できない「感性」に基づいたものであるかに着目し、ほとんどのケーブルを自社工場にて手作業で製作。開発者・職人達の音楽への情熱が詰まった「心に響くケーブル」を届けている

メタル採用の新シリーズも登場

Clearway HDMI 2.0 4K (18Gbps)

ラインアップ(価格は全て税別)
0.75m/¥11,500、1.5m/¥15,000、
2m/¥19,000、3m/¥21,000、
5m/¥29,000、8m/¥34,000、
10m/¥38,000



コード・カンパニー初のネットワークハブはシンプル&コンパクト!

万全のシールド対策で ストリーミング再生にも効果抜群!

イギリスのケーブルブランド コード・カンパニーより、サブブランドEnglish Electricが始動した。その第一弾となるのは、高周波ノイズ対策で大きな効果が期待できるネットワークハブ「8Switch」。コード・カンパニーはこれまでも、携帯電話やWi-Fiなどの影響で、年々増え続ける高周波ノイズへの対策を意識的に行ってきた。そこで培われたシールド技術を投入、ストリーミングを意識したコード・カンパニーのLANケーブル4モデルと共に、ハブによるグレードアップのポイントを解説しよう。

Text by

逆木 一

Hajime Sakaki

Photo by 田代法生

English Electric 8Switch

スイッチングハブ
¥98,000(税別)



Specifications

- 対応イーサネット規格：100/1000 Base-T ●ポート数：8ポート
- 高精度TCXOクロック技術搭載 ●筐体：アルミニウム ●ACアダプター：5V対応の医療用グレード ●サイズ：152W×83D×35Hmm
- 質量：422g ●取り扱い：アンダンテラルゴ(株)

コンパクトなアルミ筐体に
万全の音質対策を搭載

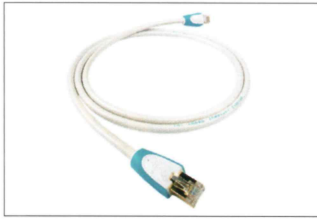
CHORD COMPANY(コード・カンパニー)はイギリスのケーブルメーカーで、エントリーから超ハイエンドな価格帯に至るまで、幅広い製品展開を行っている。今回、コード・カンパニーは新たに「English Electric」ブランドからオーディオ用スイッチングハブ8Switchを登場させた。素材・スベックといった技術的要素に加え、同様に「感性」を大切にした製品作りを志向する同社が手がけるハブの実力がいかなるものか、同社製LANケーブルとの組み合わせも含めてレポートする。

製品の紹介に先立ち、「そもそもスイッチングハブ(以下「ハブ」と呼ぶ)とは何か、何のためにあるのか」ということについて触れておきたい。

ハブとは、端的に言って「LANケーブルの分配器」のことだ。まさに電源における電源タップのように、ハブは複数のLANポートを持ち、複数のネットワーク機器の接続を可能にする。現在はオーディオ機器も含めてネットワークに繋がる製品が激増

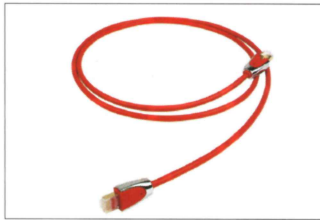
最初の一手としてオススメできる ハブへの投資を考えたときに

コード・カンパニーのLANケーブル



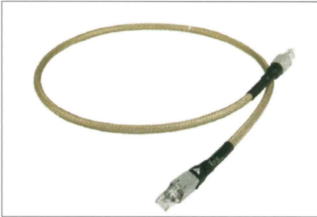
C-stream

高品位な無酸素銅撚り線を採用、2重のラップホイルシールドを採用したエントリーケーブル。¥9,000(1.5m/税別)



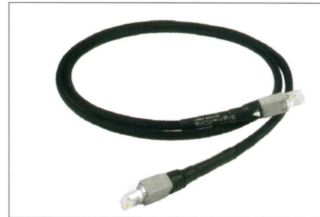
Shawline Streaming LAN

編線&ラップホイルの2重シールドを搭載。赤い被覆が特徴で、無酸素銅の薄体に銀メッキを施している。¥42,000(1.0m/税別)



Epic Streaming LAN

高周波ノイズ対策として編線&ラップホイルシールドを採用。端子部にはハンダ付けを採用。¥86,000(1.0m/税別)。



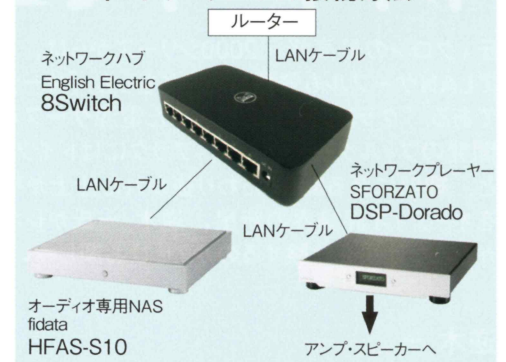
Signature Super ARAY Streaming LAN

スーパーアレイテクノロジーを搭載、厳重な高・低周波対策がほどこされている。¥140,000(1.0m/税別)



8Switchの背面。全体で8つのポートを搭載、専用のACアダプターが付属する。なお、フロントのLEDは1000M接続時は緑に、100M接続時はオレンジに光るが、非常に控え目でシアタールームなど暗めの部屋でも邪魔にならない

ネットワークハブの接続方法



しており、無線LANルーターに搭載されているLANポートでは不足するという場合にハブが使われる。ハブが持つもうひとつの重要な役割は、無線LANルーターから物理的に離れた場所に、有線ネットワーク環境を構築するということ。無線LANルーターを置いてある部屋から離れた場所や別の部屋にハブを設置すれば、部屋の間を伸ばすLANケーブルは一本で済む。すなわちハブとは本来、あくまでも「必要に応じて使うもの」であって、必ずしも「不可欠なもの」というわけではない。例えば無線LANルーターがオーディオシステムにすぐ近くにあり、LANポートの数も足りていないなら、別にハブがなくても構わない。そうはいっても、ネットワークオーディオの領域が深化を続ける中で、ハブが再生音に与える影響がクローズアップされてきたことも事実。ハブで音が変わる理由として、ネットワークを伝わる種々のノイズ、ハブ自身が出すノイズといった問題が考えられるが、「こんなにも音が変わるのか」という実感は筆者も幾度となく味わっている。そして聞くところによれば、他ならぬコード・カンパニー自身、ネットワークオーディオ

におけるハブの存在を極めて重要視しているとのこと。そんな同社から満を持して登場しただけに、8Switchのオーディオ用ハブとしての実力には大きな期待が持てる。8Switchはコンパクトなサイズながら8ポートという十分な数のLANポートを持ち、アルミの筐体は質感・剛性ともに上々。電源は外部電源を使う形で、標準で医療グレードのACアダプターが付属する。内部的な注目点は高精度なTDXOクロックの搭載で、より安定した音楽データの伝送を実現している。

豊富な情報量がベースにあり 手頃な価格で確かな効果

試験は筆者宅にて、筆者が使用しているJSPCAudioのオーディオ用ハブ「NH100」と入れ替える形で行った。

一聴して明瞭で快活、豊かなエネルギー感をもって音楽が前に出てくるようになる。情報量の著しい増大は、聴感上「音が大きく聴こえる」という結果に繋がる。ことがままあるのだが、本機の場合もまさにこれ。コンパクトな筐体から受ける印象とは打って

変わった、非常に力感のある、充実した音の表情を聴かせてくれた。同時に同社製LANケーブルも試験したが、最廉価の「C-stream」から、今回試したなかで最高クラスの「Signature Super ARAY」に到るまで、豊かな情報量をベースにした「聴いていて楽しい音」という印象は8Switchを共通する。これこそがコード・カンパニーの目指す方向性なのだろう。

なお、良質なハブの導入はユーザー自身が所有する音源を聴く場合だけでなく、インターネットを通じてデータが流れてくるストリーミングサービスを利用する場合でも大きな音質改善をもたらす。最近では日本でもAmazon Music HDといったロスレス音楽ストリーミングサービスが利用できるようになったため、それらがより良い音で楽しめることの意義は大きい。

価格は手頃で、効果は確か。高額化と複雑化が進むオーディオ用ハブにあって、8Switchはしっかりと要点を抑えつつ、シンプルかつコンパクトにまとめた製品だといえる。ハブにもこだわってみようと思える時、最初の一手としてオススメできる。